

シリーズ **土地改良** のあしあと **七取土地改良区** (桑名市)



大区画ほ場での営農状況
上之郷地区

【地区の概要】

当土地改良区は桑名市多度町の東部に位置し、揖斐川右岸沿いに広がる七郷輪中にあり、南北に細長い平坦な湿田地帯で、気候条件も良く、昔ながらの穀倉地帯である。地区には県道北方・多度線が東西に走り、岐阜県西

濃・愛知県西部へのアクセスに重要な路線となっている。

受益面積は、田200ha 畑21haの計221haで、組合員数は311名であり、揚水機2ヶ所と樋門4ヶ所を擁し、一部三重用水を補給水として利用している。



上之郷地区竣工記念碑

【地区の沿革】

昭和29年1月13日認可を受け設立され、事業実施となりました。輪中内6地区（香取・上之郷・東福永・西福永・平賀・古敷）の池沼・不要水路等を埋め立てる区画整理事業として、水田一反歩区割りと、54m間に農道・用排水路を設置し、昭和32年5月に事業完了しました。

その後、上之郷地区で平成9年度より大区画ほ場整備事業に取り組み、約40haにおいて一区画を1.5haから3haへ、同時に用水路のパイプライン化と農道幅員を5mとする再区画整理を平成14年度に完成させました。

【今後の計画】

農業従事者の高齢化・後継者不足により、大区画ほ場整備事業を行った上之郷地区を除く水田一反歩区割りにおいては、農業機械の大型化による作業効率が充分発揮できないことから、担い手農家への委託も難しく、耕作放棄地の増加から環境悪化、水路の崩壊による機能低下が問題となっています。

その為には、作業効率の良い農業基盤にして、担い手農家が優良農地として利用でき、維持し易い様に整備する必要があります。上之郷地区以外でも再区画整理への機運が高まり計画達成に向けスタートを切ったところです。

将来に繋げていくため組合員一同、一致団結していきたいと考えております。



上之郷揚水機場